

刈谷にゆかりのある輝く人をご紹介します！

刈谷から世界の頂点へ

世界40カ国以上から、トップチームが選出され開催されたTHE DANCE WORLDS 2025。9,000人以上のチアと3,500人以上のダンスアスリートが集まり、世界チャンピオンの座を競いました。刈谷から3選手がチアダンススクール「SPG CHEERDANCE PROJECT」の選抜チームのメンバーとして出場し、Senior Small Pom 部門で優勝、チームとして世界大会3連覇を達成しました。

悔しい思いをした全国大会

3人は昨年6月に選抜チームに選出され、2月からの予選に向けて練習に取り組んできました。競技チアの難しさについて、「モチベーションを保つこと、レベルの高い技を9人全員で合わせる」と小原さんは話します。

日頃のチーム練習はもちろん、自主練習にも励み、選抜チームで臨んだ数々の大会では好成績を残してきました。しかし、世界大会前の全国大会では5位という結果に。江島さんは「全国大会で悔しい思いをした分、世界大会では必ず1位を取って3連覇したいと思った」と当時を振り返ります。

3連覇の背景にある、チームの強み

迎えた世界大会では、9人で息の合ったパフォーマンスを披露し、見事3連覇を達成。加藤さんは「ずっと憧れていた優勝ができてうれしい。見たかった景色を見ることができた」、小原さんは「プレッシャーもあったが、もう1度世界の表彰台に立ててうれしかった」と優勝の瞬間を振り返ります。

全国大会で味わった悔しさを乗り越えることができた理由には、チームの強みが大きく関係していたと3人は分析します。江島さんは「9人全員の意識が高い。アドバイスし合って、演技に取り入れている」、加藤さんは「全員でお互いを高め合い、課題に向き合える」とチームの強みを力強く話します。世界大会までの限られた時間で声を掛け合い、繰り返し練習し、技術を磨いてきました。

競技チアの楽しさと今後の目標

「難しい技をチーム全員でやりきった時の達成感が競技チアの楽しさ」と話す江島さん。3人ともチアを始めて約10年。今後の目標を聞くと、「世界大会4連覇！」と声を揃えました。世界に羽ばたく彼女たちのこれからの活躍に期待です。



▲江島選手

▲小原選手

▲加藤選手

THE DANCE WORLDS 2025 世界大会3連覇
SPG CHEERDANCE PROJECT
H BEAT BEANS VIVID

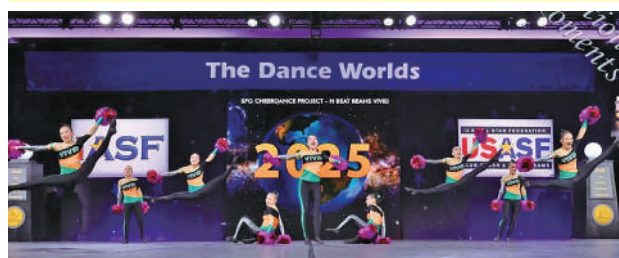
えじま せな
江島 瀬奈 選手 (大府高校3年)

こはら ありん
小原 杏凜 選手 (依佐美中3年)

かとう りあ
加藤 葵海 選手 (依佐美中3年)

チアを始めたきっかけ

- ▶ 江島選手…母から勧められて
- ▶ 小原選手…スポーツ観戦時にチアリーダーに憧れて
- ▶ 加藤選手…いとこの影響で



▲世界大会のステージ発表の様子

★輝く人の原動力！

チーム皆で焼き肉

大会の打ち上げの定番は焼き肉。頑張った後のお肉は最高！



家族の支え

日頃からサポートしてくれる家族には感謝でいっぱいです。

